

芸術

も く じ

- 新時代に生きる芸術会議を…………… 1
- 25周年記念大分県芸術祭… 2～4
- 芸術補欠役員から一言…………… 5
- 平成元年度芸術自主事業・海外派遣事業…………… 6
- 県洋舞界の歩み(1)…………… 7
- 事務局だより…………… 8



大分県芸術文化振興会議

■発行人：挾間正年 ■編集人：後藤正二

No. 77

1.9

(題字 首藤春草)

新時代に生きる 芸術会議を



大分県芸術文化振興会議
事務局長

後藤 正 二
(県文化課長)

近頃、国際化・情報化・高齢化がいわれ、これからの社会の在り方を規定する三要素として、これへの対応が叫ばれている。大切な命題である。思えばこれらの潮流は急激に変転して止まない現代社会の事象を象徴するものであるが、これらとはやや次元を異にしていわれているものに、21世紀に向っての「文化化」がある。

わが国はこれまで数々の困難を克服して物の豊かさを追求して来た。それは世界の奇跡ともいわれ、一応の成果をあげて来た。この歴史の上に立って「心の豊かさ」が求められ始めている。いわば人の人たる真髄の探求が、今やとと始まっているといえよう。物の豊かさに加えて、更に心の豊かさを實現する手がかりは色々あるが、その一つの重要なキーワードが「文化」である。国際化・情報化・高齢化と並んで、しかしこれらとは本質的に次元を異にする位相で文化化が叫ばれる理由はここにある。

21世紀の到来が指呼の間となった今日、これまで四半世紀に及んで活動して来た県芸術文化振興会議は、まさに先進的役割を果して来たといえよう。しかし今、一人ひとりの心の豊かさもさることながら、更に社会的国家的にも「心の豊かさ」を實現することが求められている。21世紀に向ってのムラづくりの一つのキーワードが文化であるというのは、このためであろう。とはいえ、すぐれた芸術文化は、すぐれた一人ひとりによって具現されるものであることは、いうまでもあるまい。

本会の目的としては、芸術文化団体の自主的な活動の拡大促進を図ること、本県の芸術の振興に寄与することを謳っているが、新しい時代からの要請を見据えて、高適な理想のもとに次の四半世紀へ大きく歩み始めなければならない。要は、いわば時代と社会をリードする芸術文化振興会議を夢見て、会員相互の足腰を強くすることであると、この頃こんなことに思いをめぐらしているのである。

そのため本会が、ローカル文化による国際交流の推進、各種文化情報の発信、高齢者の文化振興の指導など、各種の文化活動の基地になることも社会的要請と思う。これらの根元になるもの、それが本会の参加団体である。今後その一層の充実発展を図るばかりでなく、更に市町村ごとの芸術文化振興会議を設立育成すること、「演ずる人」のみでなく「見る人、聴く人」の会を育てることなど、本会の充実強加に加えて底辺の拡大が、これからのワンステップの仕事であろうと思うものである。



BLACK CONSTRUCTION
菅 章(環抽象絵画協会会員)

開幕行事

大友宗麟にちなんだ県内各地の民踊

県民踊連盟会長 伊坂香里

大分県民踊連盟は発足してから30年余り、県下各地で民踊の発掘・保存・普及・発展に尽力している民踊愛好者の集まりで、現在21団体が加盟している。今回大分県芸術祭25周年開幕行事の一端に参加させて戴くに当たって、有意義かつ実りあるものになりたいと、会員一同心構えを新たにしている。

今回主題として取り上げるのは、郷土史上の有名な人物「大友宗麟」にちなんだ県内外各地の民踊である。没して400年余り、府内城主としてまたキリスト教の熱烈な信者として生きた彼の波乱万丈の生涯の足跡を訪ね「民踊で綴る大友宗麟」として演ずることにした。大友宗麟の経歴を概略ご紹介してご観賞の参考にして頂きたいと思う。

○1530年府内の大友館で出生。本名「義鎮」

○1550年別府で湯治中、父義鑑家臣に殺されて義鎮第21代の家督を継ぐ。直ちに肥後へ出兵、反乱鎮圧に当たる。

○1551年ポルトガル人フランシスコ・ザビエルを招いてキリスト教を府内に広める。南蛮船との交易も盛んとなる。

○1553年義鎮女色に狂い家臣の反乱が起こる。義鎮を諫めるために家臣が京都の白拍子と呼び寄せ、優雅な踊りを舞わせた。これが後の「鶴崎おどり」で日本三大盆踊りの一つに数えられている。

○1554年義鎮將軍家に莫大な献金をして肥前の国守護職となり、奈多八幡の娘を妻とする。

○1559年義鎮は豊前・筑後の守護職となり、さらに九州探題として九州六ヶ国に君臨する。

○1561年毛利軍と門司城で戦って敗れる。

○1563年府内の大友館を息子に譲って剃髪「宗麟」と号する。白杵に丹生島城を築城して移り住む。

○1567～68年肥前佐賀と戦って敗れる。宗麟も筑後久留米へ出陣。

○1578年宗麟キリスト教受洗「フランシスコ」と号す。大軍を率いて日向へ出陣。耳川で大敗して逃げ帰る。大友王国崩壊始まる。

○1582年宗麟津久見へ隠居。信仰生活に入る。

○1587年侵入した島津軍を丹生島城で迎え撃つ。

○同年疫病により大友宗麟津久見で没す。享年58歳。

上記のような足跡をとどめた各地に、今も唄い継がれ踊り継がれている民踊を辿りながら、一代の英傑「大友宗麟」を見直したいと、私たちは考えている。



中幕行事

オペラは再び「魔笛」の大作を

県民オペラ協会会長 小長久子

県民オペラは今年、芸術祭始まって25周年の主催行事としてモーツァルトの名作「魔笛」を10月29日午後1時、6時から芸術会館で野崎哲指揮、桂直久演出で上演する。

このオペラは51年にも第12回大分県芸術祭主催行事として上演している。この頃は50年に「吉四六昇天」東京公演に続いて県内、九州各都市における公演、ロータリー南日本地区大会や商工会議所婦人部の全国大会での上演、そして第11回県芸術祭主催の「フィガロの結婚」上演など続いていた状態の中であった。

今年25周年の記念に再び舞台も出演者の陣容も一新し、ヨーロッパをはじめ、多くの国の人々に愛されるこの「魔笛」の大作を上演できることをうれしく思う。

平成元年1月にキャストを決め、4月から桂先生の立稽古に入って既に9回、この間に7月29日竹田市文化会館でファミリー劇場に「炭焼姫」「うかれ達磨」の上演、又、10月23日上演のための野津町「吉四六ランド」での「吉四六昇天」野外オペラの立稽古が野津町中央公民館で行われたりなどしたが、本番に向って「魔笛」の稽古はたゆみなく続けられている。

ベートーヴェンは「魔笛」をモーツァルト最大の傑作と讃え、「魔笛の主題による変奏曲」を書いている。ゲーテもこの続篇を計画していたと言われている。

モーツァルトの音楽映画「アマデウス」にも見られるシカネーダの台本、ウィーンのアウフ・デル、ヴェーデン劇場でモーツァルト自身の指揮により1991年9月30日初演された。映画では、この初演の演奏中にモーツァルトは倒れたことになっているが、実際はその後10月に20回を越える上演を彼は客席で観ている。そして11月下旬、病床にあって劇場へ行けなくなったモーツァルトは時計を見ながら劇場へ想いをはせ、「パパゲーノのアリア」を口ずさんだと言う。

このオペラは18C後半から盛んになったジグシュピール（歌芝居）の形をとり、歌と歌の間にセリフが入る。エジプトを舞台にした「おとぎ話、の世界、「夜の世界」と「太陽の世界」、この二つの世界の対立を軸に王子タミーノと姫バミーナは結ばれ、「夜の世界は減んで太陽の世界」が栄えるという自由・平等・博愛の精神に共鳴したモーツァルトの壮大なスケールのオペラである。登場人物も多く、人間の純粹さと弱さを代表している鳥刺しパパゲーノや欲に目のくらむ母親夜の女王や奴隷モノスタトス、それらの手から姫を守る聖僧ザラストロなど。鳥刺しパパゲーノはかつて立川清登さんのお得意の役、名旋律も多く、3人の童子、侍女たちの三重唱も聴きどころ。大蛇や森の動物に扮した子供達も登場、大人から子供にまで楽しめるオペラである。

県民オペラ「魔笛」立稽古風景



閉幕行事

専行幕中

民衆の歴史劇 六郎右衛門獄門首

県民演劇制作委員長 中 沢 とおる

◆県芸術祭主催（閉幕）行事

日田義民伝 六郎右衛門獄門首 作・演出 中 沢 とおる

制作No.34 大分県民演劇制作協議会

公 演 11月25・26日 2回公演（大分県立芸術会館）

〈作品紹介〉

日田市中心部、三隈川を見おろして立つ亀山公園の「義民穴井六郎右衛門」顕彰碑は、日田市郡、玖珠郡の民衆が、いまなお尊敬してやまない郷土の偉人です。

延享3年（243年前）日田におこった百姓一揆のお話。当時、江戸幕府の政策は「百姓を生かさぬよう殺さぬよう絞りとる」のが農民政策の基本でした。天領日田の代官に岡田庄大夫というエリートが派遣されてきました。父が忠臣蔵で知られる赤穂城没収の幕府側使者の一人であったくらいですから、若い時から幕府のおぼえのめでたい頭のよく働く人物でした。

日田に着任した翌年、恋女房に死なれ、酒と女に溺れる遊湯三味の豪遊生活をつづけますが、その金を農民からの税の収奪にあてこんだのです。幕府がきめた定免法という悪税による収奪やうちつづく天災で飢餓におこまれていた農民たちが怒りに燃えて立ちあがるのは当然です。だが当時、百姓一揆は固いご法度、死罪は免れません。

六郎右衛門は庄屋でした。岡田庄大夫の後にいる幕府の権力と闘う以外に解決はないと決心し、2名の者をつれ江戸に赴き幕府に直訴嘆願しました。直訴は死罪。一応江戸から日田に帰されましたが、すぐに逮捕され斬首の刑、獄門首としてさらされました。

だが、岡田庄大夫の悪政も幕府のしるところとなり、農民生活のすべてから税を収奪していた定免法に待ったがかかりました。六郎右衛門の死によって日田の農民たちは救われたのです。

この百姓一揆の物語を二時間半の舞台にまとめる歴史劇です。



日本オランダ修女子380周年記念イベントで、今年6月県立芸術会館で上演された県民演劇の「波濤を越えて」の一場面

芸振補欠役員から一言

平成元年6月15日(休)県婦人会館で開かれた今年度総会において、一部団体代表者の交替による補欠役員の選出が行われた。新役員の紹介を兼ねてひとこと芸振に期待することばを聞いた。

(順不同)



副会長 塔 鼻 勝 人
(高等学校文化連盟会長)

これからの芸振会議活動に強く期待することは、芸術文化基金の適正な配分と若い後継者の確保に努めることである。



理 事 川 口 九 山
(県三曲協会会長)

この会議の内容を知り各ジャンルの事業が多岐にわたり実施され発展していることはご同慶の至りである。同時に事務局スタッフのご苦勞に謝意を表する次第である。



理 事 山 村 晃
(大分市教育委員会
社会教育課長)

本年4月、大分市芸能文化協会の事務局長に就任と同時に、芸振の理事としての大役をおおせつかった。今後は、微力ながらも芸振の発展を願って力を尽す所存である。



理 事 花 柳 昌吉郎
(県日本舞踊連盟会長)

文化の時代。モノから心の充足へと欲求が大きく変化するいま、伝統芸術日本舞踊の持つ奥深い真の心の豊かさが、数多く鑑賞できる場、企画、そして実施を切に希望する。



理 事 安 部 秋
(県立芸術会館副館長)

近年物質的豊かさから心の豊かさを求める気運が高まってきている。その推進的役割を担っているのが各種文化団体の創造活動であり、これを助成する芸振会議の責務は大きい。



理 事 首 藤 悦 爾
(県児童文化研究会会長)

幼ない頃聞いたお話。子どもの時に見た人形劇。少し大きくなり体で味わう映画や音楽。懐かしい思い出がよみがえる。今、子ども達に夢とロマンを、そして、心にともし火を。



理事 板井 南桜山

(萬誼会会長)

4年前、長野市で開かれた全日本合唱コンクールに参加し、市民合唱団と共演した。会場は長野県民文化会館。広大な敷地に多目的な機能を持ったホールがいくつもあって、演奏もやり易く、わが大分県にもこんな施設が欲しいものと痛感した。



理事 日野 正美

(県歌人クラブ事務局長)

芸術活動は、本来孤なる者の孤なる活動。恣(し)意に動く孤と、部門の中のみ動きがちな各閉体を統括し、地域芸術文化の振興と連携に資する「芸振」に期待している。



理事 尾 登 一 信

(大分市民劇場会長)

1人前になった芸振として、より高い実現性のある提案を行ってほしい。

鑑賞する側の立場も大切にしたいという。事務局長(文化課長)の姿勢に期待する。

平成元年度 芸振自主事業

区 分	期 日	開催地	会 場	公 演 団 体	備 考
ファミリー 芸術劇場	7月29日(日)	竹田市	竹田文化会館	県民オペラ協会	PM2:00
学 校 巡 回 公 演	7月17日(月)	鶴見町	中央公民館	グループU N O	AM10:30
	"	"	東中浦小学校	"	PM2:00
	7月19日(水)	武蔵町	東小学校	大分大混声合唱団	AM10:30
	"	"	中 学 校	"	PM13:30
	8月6日(日)	姫島村	小 学 校	県人形劇サークル協議会	AM10:30
	"	"	中 学 校	"	PM1:00
	8月21日(月)	中津市	如水小学校	県洋舞踊協会	AM10:30
	"	三光村	山口中学校	"	PM2:00
	11月19日(日)	津久見市	青江小学校	大分市少年少女合唱団	AM10:30
"	"	津久見小学校	"	PM2:00	
文 化 キャラバン	10月21日(土)	上浦町	中央公民館	小袋丹一座	PM2:00
	10月22日(日)	大山町	文化センター	大分市民合唱団	PM2:00
	11月12日(日)	安岐町	中央公民館	県庁職員吹奏楽団	PM2:00

海外派遣事業

氏 名	年齢	推せん団体	職 業	部 門	派遣先	期 間	研 修 内 容
菅 章	35	県 美 協	高校教諭	美術 (洋画)	韓国・米国	7/20-8/22	現地視察 作家交流 制作
岩崎洋子	36	県民オペラ協	ピアノ教師	音楽 (声楽)	イタリア	元年 2年 12月-2月	ベルカントの発声 とオペラの研究

県洋舞界の歩み(1)

県洋舞踊協会会長 佐藤朱音

洋舞踊はその歴史が浅いためか、音楽や美術のように国立の学校もなく、また日本舞踊のようにそれを支える伝統的風土もない。ただ寺小屋のように、個人対個人で支えているのが今も昔も変らぬ現状である。

大分では戦後まもなく竹内永先生が、エリアナ・パブロワ先生に手ほどきを受け、本格的に門下生を育てはじめたのが大分の洋舞踊のはじまりであり、これはまた日本のバレエのはじまりと重なり合う。

竹内永先生のバレエ研究所の開設より少し遅れ、大分市では平瀬克美先生、日田市では樋口愁枯先生、別府市では成田利樹先生、またしばらくして竹田市では杉原昌子先生が研究所を開設、いよいよ洋舞踊の芽が出そうことになる。

竹内永先生をはじめとする諸先生方の門下生の流れ、展開が、また現在の大分の洋舞踊界を創っているともいえる。

「皇太子ご成婚を祝して」の大分合同新聞社主催・企画の初合同公演が協会結成のきっかけとなり、昭和35年には他県に先がけて大分県洋舞踊協会が設立された。協会設立後は毎年、県下各地を巡回公演している。

○協会設立時の会員は次の通りである。

(敬称略)平瀬克美、樋口愁枯、成田利樹、杉原昌子、安部峰子、伊坂里美、佐藤朱音。

また合同公演地は次のようになっている。昭和36年—日田、37年—竹田、38年—大分、39年—別府、40年—中津、41年—大分、42年—日田、43年—竹田、44年—大分、46年—大分、47年—日田、48年—大分、49年—大分、50年—大分、51年—日田、52年—大分、53年—別府、54年—佐伯、55年—大分、56年—竹田、57年—日田、58年—別府、59年—大分、61年—大分、62年—大分、63年—大分。

特に昭和46年「白鳥の湖」全4幕公演、昭和49年創作「朝日長者」、昭和55年創作「おおいたの祭り」昭和61年「白鳥の湖」全幕再演は協会全体の合同公演として印象深い。

現在、県下の洋舞踊のスタジオ主宰者は次の方々である。(敬称略)平瀬克美、樋口愁枯、杉原昌子、佐藤朱音、笠木啓子、湯原恭子、荒武久美子、後藤智江、黒佐亜子、若葉早苗。



第22回大分県芸術祭主催公演・大分県洋舞踊協会合同公演「白鳥の湖」 大分文化会館

事務局だより

菅章氏、海外研修を終え帰国

平成元年度文化基金事業＝海外派遣者の一人、美術の菅章氏は、隣国の韓国及び現代美術の本場アメリカに研修に行き、多くの成果を得て無事帰国。



期間＝平成元年7月20日～8月22日（34日間）
 テーマ＝アメリカにおける現代美術とモダンデザインの研究、作家交流。
 なお、もう一人の派遣者である岩崎洋子氏は、この12月にイタリアに向けて出発する。

新会員増える

芸振会議は、組織拡充のため、一昨年度から会員の加入促進を呼びかけている。そういうなかで、去る6月15日に開催した理事会で、新たに個人13、団体4の加入を承認した。
 今回承認された会員は下記のとおり。なお、会員番号は、固定番号であり、退会した場合は欠番となる。

バルーキン教授講習会

昨年度の芸術文化基金海外派遣研修生としてモスクワにバレエの勉強に行った県洋舞踊協会会長佐藤朱音さんの肝入りで、国際級のバレエ教授による講習会が実現しました。県立芸短大の体育館で100人程の小中高生が8月22日から29日までの8日間に亘って受講し、大成功のうちに終了しました。バルーキン教授は、ソ連邦人民芸術家の称号を持った、ロシアのバレエ指導の第一人者で、これまでアメリカ、カナダ、イギリスなどの指導歴も多い。さすがに子供たちもバルーキン教授の人格から伝わる、バレエの心をうけとめ、短かい期間であったがはっきりと子供たちのバレエする姿が良くなっていた。これは直接的には、実行委員会を組織して実施したのですが、県洋舞踊協会の会長さんのご努力をはじめ、大分合同新聞社狭間文化部長さん、大分大学の加藤先生など芸振関係者の大きな力があっての大成功だといえます。ご苦勞様でした。（事務局）



入会申出の承認について（規約第7条2項）

●団体

団体名	事務局所在地	代表者氏名及び住所		事務局長氏名及び住所		団体の目的	会員数	設立年月日	設立後の経過	備考
		氏名	住所	氏名	住所					
大分少年少女合唱連盟	■■■■	杉田信男	■■■■	高森紀郎	大■■■■	児童合唱の向上 人間形成の育成	9団体 500人	昭和63年 3月6日	団体の指導者研修 合唱祭の開催	ウ
泉の会	■■■■	阿部龍美	■■■■	楽師寺浄香	大■■■■	新舞踊の普及	150人	昭和62年 5月20日	コンバルホールで 発表会の開催	ウ
皇風会煎茶礼式大分支部	■■■■	寺西ユリ子	■■■■	同左	同左	煎茶を通して豊かな心根を育てる	16人	昭和53年 4月1日	大分市で例年清流派合同茲善茶会と市民茶会参加	ウ
大分中央合唱団	■■■■	河野昭二	■■■■	同左	同左	合唱を通じ親睦を図る 地域文化の向上	60人	昭和61年 10月	県合唱祭に参加 定演2回	ウ

●個人

番号	氏名	郵便番号	住所	電話番号	所属団体	番号	氏名	郵便番号	住所	電話番号	所属団体
138	伊勢 方信	■■■■	■■■■	■■■■	県歌人クラブ	145	首藤 悦爾	■■■■	■■■■	■■■■	県児童文化研究会
139	若葉 早苗	■■■■	■■■■	■■■■	県洋舞踊協会	146	今永 一成	■■■■	■■■■	■■■■	事務局
140	古林茂三郎	■■■■	■■■■	■■■■	県美術協会	147	日野 正美	■■■■	■■■■	■■■■	県歌人クラブ
141	花柳昌吉郎	■■■■	■■■■	■■■■	県日本舞踊連盟	148	川口 九山	■■■■	■■■■	■■■■	県三曲協会
142	笹島 豪二	■■■■	■■■■	■■■■	事務局	149	山村 晃	■■■■	■■■■	■■■■	大分市芸能文化協会
143	後藤 正二	■■■■	■■■■	■■■■	"	150	安部 秋	■■■■	■■■■	■■■■	県芸館副館長
144	仁都屋忠一	■■■■	■■■■	■■■■	"						